

令和7年度使用中学校教科用図書
に関する調査報告書

教科名 音 楽 (器楽合奏)

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	音楽 (器楽合奏)
----	-----------

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
教出	17	音楽 017-72	中学器楽 音楽のおくりもの	<ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツが充実しており、映像を見ながら自分のペースで学びを進めることができる。 リコーダーの学習で、導入曲に工夫がなされており、興味をもって取り組むことができる。運指表も見やすく、1曲ずつに演奏のアドバイスが掲載されている。 リコーダーの楽器の各部の名称がわかりやすくまとめられているので、音の出る仕組みがわかりやすい。 リコーダーのまとめの曲が多く用意されており、アンサンブルの楽曲もバラエティ豊かであるが、中には奏法や運指に無理のある曲がいくつかある。(トリルで7の指を使用している。) 和楽器の種類が多く掲載されており、資料も豊富で日本の伝統に触れるのによい。ただ、三味線や篠笛は学校現場では台数が少ないので、紹介や鑑賞のページを充実させ、その分リコーダーの楽譜を増やした方がよい。 デザインに統一感がなく、色使いについても、ユニバーサルデザインの観点でやや課題がある。 楽譜と楽譜の間隔が詰め込みすぎており、見づらい。

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
教 芸	27	音楽 027-72	中学生の器楽	<ul style="list-style-type: none"> ・伴奏の二次元コードが付き、自主的に個人で練習する際に活用できる。 ・リコーダーの選曲が易しいものから段階に応じて展開されているのでスムーズに学習指導を進めることができる。 ・リコーダーの各部分の名称や姿勢など基本的なことがわかりやすく表示してある。 ・アーティキュレーションの違いを同じ曲で丁寧に説明しているので生徒が理解しやすい。 ・同じ曲でアルトリコーダーとソプラノリコーダーの両方の運指を掲載している楽譜が多いため、生徒がアルトリコーダーの運指を覚えるときに、ややわかりづらい。 ・箏の楽譜が大きく表示されており、簡単な曲から掲載されているのでスムーズに習得できる。 ・打楽器の内容が充実しており、楽器演奏を不得意とする生徒も興味を持って取り組むことができる。打楽器のアンサンブルを楽しむこともできるので画期的な内容である。 ・ギターは実習が困難だが、興味をひく写真や歴史、一般的な知識が掲載されているので教師側の取扱いによっては関心を持たせることができる。 ・三味線や篠笛は学校現場では台数が少ないので、紹介や鑑賞の授業になりやすい。 ・写真やレイアウトにまとまりがあり、見やすい。

(様式2)

教科用図書調査に関する報告書

音楽(器楽合奏)

観点別評価

「◎」優れている

「○」標準的

「△」やや劣る

選定の観点	選定の視点		教出	教芸
学習指導要領との関連	1	学習指導要領に示されている音楽科の目標達成に結び付く内容になっているか。	○	○
	2	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫がされているか。	○	◎
	3	「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫がされているか。	○	◎
	4	言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	○	○
	5	学習への興味・関心を高めるとともに、学びを深めるために、デジタルコンテンツ機器を適切に活用することができる配慮がなされているか。	○	○
	6	SDGs など、今日的課題が取り上げられ、生徒が興味・関心を持ち、主体的に学ぶとともに発展的な学習も行うことができる工夫がされているか。	○	○
内容	1	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う工夫がなされているか。	○	○
	2	表現及び鑑賞の活動を通して、〔共通事項〕を身に付けることができるような配慮がなされているか。	○	○
	3	音楽に関する歴史や文化的意義、生活や社会において音や音楽が果たしている役割を、表現や鑑賞の活動を通して、自己との関わりの中で理解できるような内容となっているか。	○	○
	4	音楽を形づくっている要素などの働きについて実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞などに生かすことができるような工夫がなされているか。	○	○
	5	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるような内容となっているか。	◎	○
	6	音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図るなど、音楽科の特質に応じた言語活動が適切に位置付けられているか。	○	○
	7	我が国や郷土の伝統的な音楽の学習を通して、我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わい、愛着をもつことができるような工夫がなされているか。	◎	○
構成・分量	1	内容の量と学習時間が適切に配当されているか。	△	○
	2	生徒の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	△	○
表記・表現	1	表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	△	○
	2	文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	△	○
	3	ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、配慮されているか。	△	○